市政に関する一般質問通告一覧

令和3年第7回半田市議会定例会

【日程】※日時は予定です。

日	時			質	月	月	議員
8月31日 (火)	午後1時15分~	1.	小	栗	佳	仁	(志民ネット)
		2.	加	藤	美	幸	(維新・半田市民の会)
		3.	竹	内	功	治	(創造みらい半田)
9月 1日 (水)	午前9時30分~	4.	伊	藤	正	興	(チャレンジはんだ)
		5.	或	弘	秀	之	(チャレンジはんだ)
	午後1時15分~	6.	水	野	尚	美	(チャレンジはんだ)
		7.	中	Ш	健	_	(維新・半田市民の会)
		8.	岩	田	玲	子	(創造みらい半田)
9月 2日 (木)	午前9時30分~	9.	中	村	和	也	(志民ネット)
		10.	坂	井	美	穂	(公明党)
	午後1時15分~	11.	鈴	木	健	_	(無所属)

8月31日(火)午後1時15分~

- 1. 6番議員 小栗佳仁 (志民ネット) 【一問一答】
 - 1 市長マニフェストにある「くらしを支える強い経済」について
 - (1)「トップセールスで企業誘致に挑み、市内の雇用を3,000人増やす」について伺います
 - ①企業誘致による雇用目標3,000人は、2030年までにどのように実現したいと考えていますか。また、工業団地造成に合わせた企業誘致を進めるべきと考えますがどうですか
 - ②自動車産業が盛んな愛知県において、今後導入予定の欧米環境規制を先取りしたブレーキパッドやポスト・リチウムイオン電池として期待される全固体電池などの産業に期待しますが、どのような業種を想定していますか
 - ③マニフェストの実現に向け、全庁的に連携して頂きたいと思いますが、どのような体制で取り組んでいきますか
 - ④生産年齢人口の内、若い世代の男女バランスが男性に偏っていると思いますが、現状 はどのようになっていて、企業誘致の際に考慮する考えはありますか
 - (2) 労働にまつわる社会問題の解決について伺います
 - ①就職氷河期世代の非正規雇用者の正社員登用、リモートワークの導入、男性の育児休暇取得、ひとり親への働き方配慮などについて現状をどう捉え改善していくのでしょうか
 - ②「労働にまつわる社会問題の解決に寄与する事業所に一定条件で助成する事業」については、どのような事を想定していますか。また、助成する場合の一定条件とはどのような事ですか

- (3) ビジネスチャレンジ制度について伺います
 - ①新規起業や業種転換を応援するビジネスチャレンジ制度とは具体的にどのような事で すか
 - ②この制度をどのように伝えていくのでしょうか
 - ③起業や業種転換しようとしている方の情報を得る方策をどのようにお考えでしょうか

2. 14番議員 加藤美幸 (維新・半田市民の会) 【一問一答】

- 1 市長マニフェスト「未来を担う人づくり」について
- (1) 教育や子育て環境の充実について問う
 - ①「子どもの権利」をどのように考えますか。また、多様な個性をもち、様々な家庭環境のもとで育つ子どもたちに対して、等しく権利は与えられていますか
 - ②GIGAスクール構想により、すべての小中学生に配布されたタブレット端末の活用 方法や、学習の効果、また課題は、どのようですか
 - ③国立青少年教育振興機構による、青少年の体験活動等に関する意識調査では、自然体験や生活体験、文化芸術体験が豊富な子供、お手伝いを多く行っている子どもは、自己肯定感が高く、自立的行動習慣や探究力が身についている傾向があり、地域社会で大人たちとふれあい交流するなど、直接のコミュニケーションによる活動が重要と考えますとの報告がされています。今後、半田市の子ども達にも、企業や地域、市民団体とも連携し、さらに体験活動の機会を増やすべきと考えますが、所見をうかがいます
 - ④同じ調査において、自然体験活動に関する行事へ小学生が参加しない理由として、世帯年収が 400 万円未満の家庭は、経済的あるいは時間的な負担があるため、との報告がされています。経済的に困難な家庭や、ひとり親家庭は、経験や体験の機会が少なく、子ども達の格差が懸念されます。どの子も平等に、自然や環境、福祉、多文化、芸術など、様々な分野の体験活動の機会を得るには、配慮や支援が必要と考えますが、所見をうかがいます
 - ⑤ごんくるバスは、図書館や博物館、亀崎図書館、プラネタリウム、新美南吉記念館などの文化施設へ行くのに便利ですが、中学生は大人料金、小学生は半額の乗車賃を無料にすべきと考えますが、見解をうかがいます
 - ⑥この夏も幾度となく熱中症警戒アラートが発表されました。エアコン等が無い屋内外での運動は、原則中止や延期とされています。7月~8月の熱中症警戒アラート発表時の部活動や体育の授業等において、エアコンの無い体育館では、何日間、どのように対応しましたか
 - ⑦大府市や名古屋市では小中学校の体育館にエアコン設置がすすめられていますが、子 ども達が学び育つ環境が、安心安全であるために、早急にエアコンなどの空調整備が 必要と考えますが、見解をうかがいます
 - ⑧中学生の英語力および学習意欲の向上のために、英検3級以上の受験料を助成すべき と考えますが、見解をうかがいます
- (2) 平和事業を見直し、さらなる恒久平和への取組を問う
 - ①半田市は、1958 年に日本で初めて、「原水爆実験禁止並びに核兵器持ち込み反対、非核武装宣言」を半田市議会で可決しました。そして非核平和宣言都市であることを内

外に明示し、平和事業を行ってきましたが、戦争を知らない世代が増える中、これまでの事業のあり方を見直し、次世代に平和事業を引き継ぎ、平和な未来を担う人づくりに取組むべきと考えますが、見解をうかがいます

- ②半田市における戦争の歴史資料や遺構の説明などを常時展示する場所が、必要と考えます。赤レンガに機銃掃射の痕が生々しく残ることから、赤レンガ建物内に、半田の戦争と平和を学び伝えるコーナーを設けるべきと考えます。また、戦争を体験した方々の貴重な肉声も早急に記録として保存すべきと考えますが、見解をうかがいます
- ③「非核・平和宣言都市半田」として、市民一人一人が、戦争の悲惨さ、平和の尊さを 感じてもらうためには、国内、世界の戦争について知る平和学習にさらに力を入れて 取り組むべきと考えます。そのため、毎年、企画展示や講演会などを開催することの 必要性についての見解をうかがいます
- ④例年、中学生を広島平和記念資料館へ派遣する事業が行なわれてきましたが、その報告レポートに二度と戦争をしてはいけないことを学んだと、多くの生徒が書き残し、それぞれの中学校で報告を行ってきました。平和な未来を担う人づくりのためには、一部の生徒だけでなく、全ての中学生に、広島や長崎の被爆地に立ち、肌で感じてもらうべきと考えます。修学旅行内容や行先についても、平和学習を取り入れるべきと考えます。また、豊川海軍工廠平和公園、阿智村の満蒙開拓平和記念館、舞鶴引揚記念館などについても、県内からも多くの小中学生が訪れていますが、半田市の子ども達も、悲惨な歴史を学ぶ体験が必要と考えますが、見解をうかがいます

3. 19番議員 竹内功治(創造みらい半田) 【一問一答】

- 1 小中学校の教育環境の向上に向けた取組み
- (1) 熱中症対策について
 - ①過去3年間における熱中症の児童生徒数の推移は、どのようになっていますか
 - ②熱中症の発生状況について、運動部などの部活動中が圧倒的に多いとのデータがあります。部活動中の熱中症対策は、どのように行っていますか
 - ③小中学校の体育館は、児童生徒の使用だけでなく、地域の活動や災害時の避難所などの利用も考えられます。今後、体育館にエアコンを整備するなど、何か熱中症対策を考えていますか
 - ④2学期が始まってからも暑い日が続くと考えられます。今後、新たな熱中症対策を考えていますか
- (2) 不登校対策について
 - ①過去3年間における不登校の児童生徒数の推移は、どのようになっていますか
 - ②現在の取組みの課題をどのように考えていますか。またその課題における対策は、ど のように行っていますか
 - ③全国では、不登校特例校などの取組みが行われています。半田市でも不登校特例校の 開設など、新たな取組みを実施する考えはありますか
 - ④不登校の対策の専門チームについて、早急に立ち上げる必要があると考えています。どれくらいの時期を目途に立ち上げる考えですか

9月1日(水)午前9時30分~

- 4. 4番議員 伊藤正興 (チャレンジはんだ) 【一問一答】
 - 1 家庭系ごみの現状とリサイクルについて問う
 - (1) 家庭系ごみ有料化後の状況について
 - ①有料化後の家庭系ごみの量は、どのように変化していますか
 - ②今後、手数料の見直しを検討していきますか
 - ③家庭系ごみ有料化から、ペット用のおむつやシートを除外することの再検討が必要と 考えます。見解を伺います
 - ④旧指定ごみ袋の交換状況を教えてください
 - (2) ゴミ出しマナーの向上について
 - ①ごみの出し方について、これまでどのような取り組みをしてきましたか
 - ②ごみステーションへ多言語の案内看板の設置が必要と考えます。今後、設置を進めて もらえますか
 - (3) 様々なリサイクルの取り組みについて
 - ①ペットボトルキャップのリサイクルは、積極的にPRした方が良いと考えます。見解 を伺います
 - ②新たに使い捨てコンタクトレンズの容器リサイクルを提案します。ごみ減量化、リサイクル、社会貢献への取り組みを始めませんか
- 5. 5番議員 國 弘 秀 之 (チャレンジはんだ) 【一問一答】
 - 1 自殺のないまちづくりに向けて
 - (1) コロナ禍における自殺増加への対策について
 - ①コロナ禍において心の問題を抱える方への必要な相談・支援体制がどのように整備され、周知がなされていますか
 - ②相談者のうち自殺の兆候が伺えるような方に対して、どのようなアドバイスや手助け を行っていますか
 - ③自殺未遂をした方への支援やうつ病など自殺の傾向があり家族が不安に思う場合の対 応はどのように行われていますか
 - ④ストレスチェックの効果や、これまで行ってきた心の保健室などの効果をどのように 評価しますか
 - ⑤女性の自殺者の増加をどのように捉え、対策を講じますか
 - ⑥自殺死亡率の数値目標として2026年までに10.6以下を目指すとありますが、近年の本 市における自殺死亡率の推移をどのように捉え、目標数値の達成に向け取り組みます か
 - (2) 児童生徒の自殺対策について
 - ①児童生徒の心の健康問題を把握するために具体的にどのような事を行っていますか
 - ②児童生徒へのSOSの出し方について教育はどのように行われていますか
 - ③自殺防止の為に、学校側が子供たちに対して日常的な教育活動を通じ、どのような事 を伝える必要があると考えていますか
 - ④自殺を企図する兆候が見られた場合、教職員、保護者、医療関係とどのように連携し

⑤市として、SNSを使った相談窓口の設置は検討されていますか

9月1日(水)午後1時15分~

- 6. 3番議員 水 野 尚 美 (チャレンジはんだ) 【一問一答】
 - 1 医療的ケア児と家族支援
 - (1) 医療的ケア児と家族の現状について
 - ①医療的ケア児の相談窓口はどこですか。また成長に合わせた継続的支援が必要と考えますがどのような仕組みになっていますか
 - ②本人と家族の現状や必要な支援を把握するために、聞き取りなどを行っていますか
 - ③我が子の医療的ケアを理由に離職した人はいますか
 - ④現在、定時医療ケアが必要な子どもは何人いますか
 - ⑤半田市内の幼稚園、保育園などにおける医療的ケア児の受け入れ状況はどのようですか。また、学校における受け入れ状況はどのようですか
 - (2) 支援体制について
 - ①医療的ケア児が、就園、就学の時期において、家族の付き添いがなくても適切な 支援を受けられるにはどのような仕組みが必要と考えますか
 - ②幼い頃から多様性を理解するために、障がいの有無に関わらず共に学び合う環境を整えることが大切だと思いますが、どのように考えていますか
 - ③今後医療的ケア児が増加した場合、その対応はどのように考えていますか
 - ④子どもと家族に合わせた切れ目のない支援を行うために、保健、医療、福祉、保 育、教育等の連携は必須と考えますが、庁内連携はどのようですか

7. 15番議員 中川健一 (維新・半田市民の会) 【一問一答】

- 1 市長選挙公約である久世たかひろ施策に記載のある『コロナ緊急対策』は『今、目の前に ある課題には、早急に決断し、対応します。』との触れ込みではあったが、4項目中3項目は 現時点では何もやっていないと評価
- (1) コロナ禍で職を失った方を臨時雇用します、との公約について
 - ①現時点で市内にコロナ禍で職を失った人は何人いますか
 - ②市長就任後から8月19日までで、新たに何人、どのような待遇で、どのような仕事に 雇いましたか。予算はいくらかかりましたか
- (2) 自宅にこもりがちな高齢者の健康ケアを促進します、と言う公約について
 - ①現時点で、市内に自宅にこもりがちな高齢者は何人いますか
 - ②市長就任後から8月19日までで、コロナ禍で自宅にこもりがちな高齢者を新たに何人、 どのように支援しましたか。予算はいくらかかりましたか
- (3) コロナとの共存を前提に、市民活動・経済活動を行うための支援をします、との公約について
 - ①現時点で、市民活動団体は何団体ありますか
 - ②市長就任後から8月19日までの時点で新たにいくつの市民活動団体に対し、どのよう

なコロナ対策支援を行いましたか。予算はいくらかかりましたか

- 2 市長選挙公約である久世たかひろ施策に記載された『コロナ緊急対策』以外の選挙公約の 進捗状況について
- (1) 『今、目の前にある課題には、早急に決断し、対応します。』との触れ込みであった『コロナ緊急対策』以外の選挙公約は熟考する時間も必要
 - ①市長選挙公約の実施に向けて、市役所内でどのように検討を進めていますか
 - ②いつになったら公約の実施計画を公表する考えですか
- 3 市民の安全安心のために貯めてきた虎の子の財政調整基金 43 億円から 26 億円もの税金を 市民 1 人 2 万円の地域振興券に使うと決めたからには久世市長は長期的な財政計画を市民へ 説明する義務がある
- (1) 榊原純夫市政最大の功績は借金を令和3年度末計画で約276億円まで減らし、一方で公共施設整備基金へ約31億円、財政調整基金へ43億円の貯金を行い、財政運営の安定により市民の安全安心をもたらしたことだったが
 - ①43億円程度が妥当であると榊原純夫市長と市議会で合意してきた財政調整基金ですが、 久世市長はいくらが妥当な金額と考えていますか
 - ②久世市長が妥当な金額と考える財政調整基金への貯金額へいつまでに戻すことができますか
 - ③財政調整基金が当初の43億円から17億円へと減額される中、今年度中にリーマンショック級の経済危機が起こり、いつ起きてもおかしくない南海トラフ大地震が重ねて発生した場合、財政調整基金が底を突くことはありませんか
- (2) 久世市長の長期財政計画に対する考え方はどうか
 - ①平成29年4月策定の公共施設総合管理計画では令和3年度末で約276億円ある借金は 令和10年には874億円まで増加する計画となっています。当初計画よりも借金の削減は 進んでいますが、久世市長は前市長が作成した長期財政計画を踏襲するのか所見を伺 います
 - ②久世市長は選挙公約を実行するにあたり、財源として再び財政調整基金を使うのか、 既存の事業の改廃により捻出するのか、借金をするのか、増税をするのか、いずれの 手法を考えているのか見解をお尋ねします
- 8. 18番議員 岩田 玲子 (創造みらい半田) 【一問一答】
 - 1 子宮頸がんを予防する
 - (1) ワクチン接種による子宮頸がんの予防について
 - ①子宮頸がん検診を行った人数に対して再検査となった人数を教えてください
 - ②令和2年10月、厚生労働省の方針により、HPV ワクチン接種について検討、判断する ためのワクチンの有効性・安全性等に関して、対象者に情報提供を行うよう変更とな りました。半田市でも令和2年10月から、全ての対象者に案内を送り、自己判断で の接種を促しています。情報提供後の接種数はどのように変化しましたか
 - ③情報不足により、接種対象期間に接種出来なかった方に対して市独自の補助を行う考 えはありますか
 - ④現在成人している女性でも、ワクチン接種により、未来の子宮頸がんを予防すること が可能です。半田市の全ての女性に情報提供され、自己判断・選択できる機会を設け

9月2日(木)午前9時30分~

- 9. 7番議員 中村和也 (志民ネット) 【一問一答】
 - 1 交通渋滞の解消策について
 - (1) 衣浦大橋の渋滞緩和策および安全対策の現状と今後の計画について
 - ①衣浦大橋のいわゆる左折レーン建設の進捗状況ならびに完了予定時期をどのように把握されていますか
 - ②多くの方々から衣浦大橋の建替え要望が出されていますが、現状と今後の見通しについて教えてください
 - ③衣浦大橋周辺の渋滞緩和策と安全対策について、何をしていくべきと考えているか半 田市としてのお考えを教えてください
 - (2) 衣浦トンネルの利便性向上について
 - ①様々な方々から衣浦トンネルの低料金化についての要望が出されていますが、実現に 向けての現状の課題と見通しについて教えてください
 - ②衣浦トンネルのETCレーンの設置実現に向けての現状の課題と見通しについて教えてください
 - ③衣浦トンネルは、産業・観光にとって非常に重要な道路に位置づけられると思うが、 さらなる利便性向上のための今後の取り組みについて教えてください
 - 2 子どもたちの健全育成について
 - (1) ネットパトロールについて
 - ①子どもたちを守るためにネットパトロールを積極的に行っていくべきと考えますが、現状の課題と今後の計画を教えてください
 - (2) 児童相談所との連携と対応について
 - ①児童相談所への相談件数および相談内容は把握されていますか。また対応者への保護 体制はどうなっていますか
 - ②児童相談所と半田市との連携はどうなっていますか
 - ③児童相談所が関わる案件について、半田市からの転出・転入者に対する行政間での対 応はどのようになっていますか

10. 12番議員 坂井美穂(公明党) 【一問一答】

- 1 がん対策の着実な推進について
- (1) 働く世代のがん対策となる、治療と就労継続支援の拡充について
 - ①がん相談支援センターやピアサポートについての情報提供はどのように行っていますか ②半田病院では、がん患者の就労継続に配慮した診療や相談支援をどのように行っていま すか
 - ③就労者が、がんになっても働き続けられるよう、商工会議所から会員企業へ、「両立支援」を普及啓発していただくなど働きかけを行い、市として環境づくりに取り組むべきではありませんか

- (2) AYA 世代への相談支援体制の強化について
 - ①AYA 世代の患者を取り巻くさまざまな問題に対して、誰がどのような情報提供と支援 を行っていますか
 - ②治療開始前の妊孕性への影響についての情報提供は、誰を対象に、どのように行われますか
 - ③令和3年6月1日より始まった「愛知県がん患者妊孕性温存治療費助成事業」や他の機関で提供しているがんの相談・支援情報など、AYA 世代の患者に対する情報提供を半田市として行い、不安や困りごとの解決に繋げるべきと考えますが、見解をお願いします
- (3) 小児を含むがん患者に対して、がん治療に伴う脱毛などの外観(アピアランス)の変化 へのケアについて
 - ①アピアランスケアをどのように捉えていますか
 - ②アピアランスケアに関する情報提供は、誰を対象に、どのように行われますか
 - ③半田市においても、ウィッグや胸部補正具購入費用の支援が必要と考えますが、見解 をお願いします
- (4) 児童・生徒へのがん教育の推進について
 - ①がん教育をどのように捉えていますか
 - ②小中学校でのがん教育の講師は誰ですか。また、対象は誰で、どのように行っていますか
 - ③学習後の児童・生徒の変化はどのようですか
 - ④効果的ながん教育を実施するために、専門性の高い外部講師の活用と動画活用を含めた半田市独自のがん教育パッケージを作成してはどうですか

9月2日(木)午後1時15分~

- 11. 16番議員 鈴木健一 (無所属) 【一問一答】
 - 1 新型コロナウイルスに対する施策について
 - (1) 半田市における新型コロナウイルスの現状と対策
 - ①半田市において新型コロナウイルスの陽性者の症状別の人数などは明らかにできます か
 - ②愛知県へ市内陽性者についての情報提供を求める努力をするとのことでしたが、その 後の状況はどのようですか
 - ③自宅療養者の生活をフォローする仕組みが早急に必要だと考えますがどうですか
 - ④半田市として、療養施設を作る考えはありませんか
 - ⑤市内の無症状の陽性者を見つけ出し、早期に療養してもらう為にやはり大規模な PCR 検査が必要だと考えますが、どうですか
 - 2 同性パートナーの権利の保障について
 - (1) パートナーシップ制度を求める声に応える為に
 - ①同性のパートナーの権利を保障する為の制度が必要だと考えますが、どうですか